

中津市議会議員 大塚 正俊

# まちづくり 通信

発行；大塚 まさとし後援会 中津市新大塚町 384 Tel・Fax 0979-22-6972  
携帯 090-2508-7959 E-mail [masatoshi@m-ohtsuka.com](mailto:masatoshi@m-ohtsuka.com)  
URL（ホームページ） <http://www.m-ohtsuka.com/>



## “東日本大震災発生から 15 年 ～「あの日」に学び「あした」を守る～”

最大震度 7 を記録し、国内観測史上最大の津波も発生。死者 1 万 5901 人、行方不明者 2519 人という甚大な被害をもたらした東日本大震災から 15 年が経過しました。被災地では多くの復旧・復興のための取り組みが行われました。

しかし一方で、南海トラフ地震や首都直下地震など大規模災害のリスクは依然として高い状況にあります。

さらに、温暖化の進行に伴い、豪雨や洪水、土砂災害の激甚化は国内外で深刻化しており、防災・減災の重要性はますます高まっています。

災害大国の日本で暮らす以上、常に災害への対策を念頭に置いておく必要があります。

「あの日」に学び「あした」を守るために、東日本大震災の教訓を踏まえた防災・減災対策の推進に向けて、取り組んで参ります。



震災直後の気仙沼市内の様子

中津市議会議員 大塚 正俊

## ■令和 8 年第 1 回（3 月）定例市議会で決まったこと。【抜粋】。

令和 8 年 3 月議会は、2 月 17 日から 3 月 18 日の 30 日間開催されました。令和 8 年度一般会計予算等の予算議案 19 件、条例議案 16 件、人事案件 9 件、その他議案 5 件、報告案件 4 件の計 53 件が上程され、全ての議案を原案どおり可決しました。

1. 令和 7 年度一般会計補正予算（第 5・6・7 号）；補正額 2 億 6648 万円  
（補正後予算額 499 億 7494 万円）

### 《新規・拡充事業（抜粋）》

□地方バス路線維持事業；814 万円

- ・人件費、運行経費の増により大交北部バス及び玖珠観光バスの赤字額が当初見込みより増加したことによる措置
- ・補正後予算額；7704 万円



大交北部バス（やまびこ号）

- 物価高騰対策緊急支援事業（社会福祉施設）；1904万円（内国庫補助金1904万円）
  - ・物価高騰の影響を受ける各社会福祉施設に対して、物価高騰相当額を支援する。
  - ・対象施設；障がい者福祉施設、高齢者福祉施設、放課後児童クラブ、子育て支援施設、こども食堂、保育施設等
- 地籍調査事業；4473万円（内県補助金3150万円）
  - ・本耶馬溪町東谷地区、耶馬溪町山移地区の地籍調査



地籍調査のイメージ

## 2. 令和8年度一般会計予算；予算額490億4663万円

（前年度比15億9437万円、3.4%増）

### 《新規・拡充事業（抜粋）》

- カスタマーハラスメント対策事業；58万円
  - ・弁護士初回相談に係る経費への補助、カスタマーハラスメント防止啓発チラシの配布、カスタマーハラスメント対策講演会の実施、相談窓口職員の養成を行う。
- 通信機器設置委託料；983万円
  - ・本庁舎及び各支所の通信設備（電話）に音声ガイダンス付き録音機能の追加を行う。
- コミュニティバス運行事業；8391万円（内国庫補助金587万円、県補助金880万円）
  - ・三保線（中津駅～市民病院～洞ノ上～北原東～市民病院～中津駅）
  - ・豊前中津線（豊前市役所～吉富町役場前～ゆめタウン前～市民病院）
  - ・三光地域；西秣線、深水・小袋乗合タクシー
  - ・本耶馬溪地域；屋形線、東谷線、西谷線
    - 【新規】午後便にデマンド交通を運行
  - ・耶馬溪地域；山移南線、深耶馬東線、山移北線 外10線
    - 【新規】朝・夕のコミュニティバス運行を除く日中の時間帯にデマンド交通を運行
  - ・山国地域；全域にデマンド交通（会員制予約型乗り合いタクシー）を運行
- ふるさとなかつ応援寄附金推進事業；2億5000万円（寄附金を充当）
  - ・ふるさと納税の受付から返礼品発送に関する経費（寄附額の50%以内）
  - ・寄附金目標額：5億円
- 中津駅周辺防犯カメラ設置事業；255万円
  - ・犯罪の抑止と発生時の活用による早期解決を目的に、中津駅北側・南側、中津駅駐輪場に防犯カメラ（14台）を設置する。
- 家庭用防犯カメラ設置費補助金；270万円
  - （内国庫補助金240万円、県補助金30万円）
  - ・防犯カメラを設置する各家庭に対し、設置費用の一部を補助する。
  - ・補助率2/3、上限3万円×90件分
- 放課後児童クラブこのわ施設整備補助事業；5665万円
  - （内国庫補助金4721万円、県補助金472万円）
  - ・小楠校区の放課後児童クラブの民間施設建替えに対して補助金を給付する。
  - ・新1年生の増加や他クラブの閉鎖によって、さらなる待機児童が見込まれるため、建替によって児童クラブを1単位増設する。（定員45名⇒90名）



山国町デマンド交通



家庭用防犯カメラ

□児童育成支援拠点事業；2481万円（内国庫補助金827万円、県補助金827万円）  
 ・養育環境等に課題を抱える家庭や学校に居場所のない児童等に対して、当該児童の居場所となる場を開設し、児童とその家庭が抱える多様な課題に応じて、生活習慣の形成や学習のサポート、進路等の相談支援、食事の提供等を行う。

□物価高騰対策水道料金免除事業；1億2120万円（内国庫補助金1億2120万円）  
 ・物価高騰対策として、水道料金の基本料金（2か月分）の免除を行うため、水道事業会計へ補助する。

□水道施設整備事業；880万円（内県補助金440万円）  
 ・小規模集落（山国町宇曾地区）における生活用水の水量不足を改善するため、水道施設の整備を行う。

□LED照明買替支援事業；4769万円（内国庫補助金4769万円）  
 ・LED照明への買い替えに対して補助金を交付する。  
 ・補助率1/2、上限3万円×1,500件分



2027年末に蛍光灯の製造が終了

□中津上毛環境事務組合負担金；4658万円  
 ・中津市と上毛町でごみの広域処理を行う一部事務組合「中津上毛環境事務組合」（R8年4月設立）に対する負担金

・職員給与（3名分）、循環型社会形成推進地域計画作成委託料など

□下池永西大新田線外1線道路改良事業；2610万円（内国庫補助金1250万円）  
 ・市民病院から県立工科短大にぬける道路改良工事、用地取得  
 ・事業進捗率；約30%、用地取得率；約90%



整備が進む宮永角木線

□都市計画総務事業（県工事負担金）；5750万円  
 ・外馬場錆矢堂線の整備にかかる県工事負担金  
 ・令和9年度完成予定（牛神交差点から小楠小学校の間）

□宮永角木線街路事業；1億4260万円  
 （内国庫補助金6100万円）

・不動産鑑定、道路改良工事、建物等補償費  
 ・令和9年度完成予定

□地域振興施設（道の駅なかつ）整備事業；434万円  
 ・道の駅なかつのトイレ修繕、キャッシュレス決済対応食券販売機の導入

□耶馬溪サイクリングターミナル整備事業；6460万円  
 ・サイクリングターミナル機能を耶馬溪コミュニティセンターへ移転（R9年4月）  
 ・令和8年度：自転車保管庫（180台）の建築工事

□企業誘致事業；1億3500万円（内県補助金9000万円）  
 ・三光臼木、諫山地区に新たな産業団地の整備を行う開発事業者に対し、県と共同で補助を行う。

・令和8年度：基本設計、用地測量、地形測量

□中津南高耶馬溪校寮整備事業；3900万円  
 （内国庫補助金1950万円）

・耶馬溪校の全国募集に伴い、寮（20室）整備を行う。  
 ・事業年度：令和8年度～令和9年度



解体されるスパーク耶馬溪（平田）

・令和8年度：スパーク耶馬溪解体工事、実施設計委託料、総事業費；約4億円

- 小・中学校屋内運動場空調整備事業；5億6075万円（内国庫補助金2億6371万円）
  - ・体育館に空調を設置し、児童・生徒の熱中症対策を図る。
  - ・設置校数：旧中津市内小学校11校、旧下毛中学校4校
  - ・空調にはGHP（ガスヒートポンプ）を採用、窓に遮熱フィルムを貼付



城北中学校体育館の空調設備

- 小楠小学校校舎改修事業；850万円（内国庫補助金284万円）
  - ・小楠小学校の支援を必要とする児童の増加に対応するため、特別支援教室の増設、改修を行う。

- 保育園等給食費無償化事業；7350万円（内国庫補助金7350万円）
  - ・物価高騰対策として、保育所・認定こども園等の3歳児以上の給食費を無償とする。
  - ・児童1人あたり月額4,900円を上限に支援する。

- 学校給食提供支援補助金事業；2億3447万円（内国庫補助金2億3447万円）
  - ・国の制度改正に伴う小学校給食費の負担軽減
  - ・国基準額：児童一人あたり月額5,200円



学校給食の一例

- 物価高騰対策学校給食提供支援補助金事業
  - ；2億948万円（内国庫補助金2億948万円）
  - ・物価高騰対策として、小学生、中学生、幼稚園児の給食費をすべて無償とする。
  - ・小学生分（国基準額を上回る額）；5862万円
  - ・中学生分；1億4230万円
  - ・幼稚園園児分；857万円

### 3. 条例・規約の制定・改正（抜粋）

- 中津市カスタマーハラスメント防止条例の制定
  - ・カスタマーハラスメントの防止に関し基本理念を定め、市、事業者等、就業者等、顧客等の責務を明らかにするとともに、カスタマーハラスメントの防止に関する施策に対して基本的な事項を定める。



- 中津市消防団条例の一部改正
  - ・近年の若年層の減少及び高齢化の進行により消防団員数の減少が続く中、地域の実情、消防組織の維持等の観点から、消防団員の定員を減らす（1,481人⇒1,262人）とともに、定年年齢を延長（団員65歳以下、団長以上役職70歳以下）する。

- 中津市長寿祝金条例の一部改正
  - ・高齢化の進行に伴い、長寿祝金の受給資格及び支給金額を見直す。
  - ・90歳2万円を廃止、100歳5万円⇒10万円



### 4. 人事

中津市教育長 大下 洋志（満61歳） 鍋島在住 元  
 総務部長 【新任】

## 3月議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考え方を質しました。

1. 城北中3年生からの政策提言
  - ①COME☆HERE 中津
  - ②特産物フェスによる中津革命
  - ③わんぱくウォークラリー
2. 今後の給食費はどうなる
  - ①小学生の無償化の内容と国・地方の財政負担は
  - ②園児や中学生の無償化に向けた国の方向性は
  - ③今後の給食費はどうなる
  - ④すべての子どもの給食費を無償に
3. 地域の気候風土に適した伝統的木造住宅のすすめ
  - ①気候風土適応住宅の特長と基準は
  - ②普及啓発活動
  - ③基準に適合した公共施設の建築
  - ④補助制度の創設
  - ⑤職人の育成に向けて



[一般質問議事録](#)  
QRコード



### 1. 城北中3年生からの政策提言（抜粋）

〔経過〕昨年11月28日、城北中学校において、「ふるさと中津のまちづくり」をテーマに3年生が考えた振興策を発表するプレゼン大会があり、中津市の抱える課題の解決策や活性化策が提案されました。城北中学校の子ども達の考えた「城下町の活性化」、「中津の魅力発信」、「防災対策」の3つの政策について、市長の考え方をお聞きしました。

#### （1）COME☆HERE 中津

＜質問＞最初に、生徒からの質問です。「奥塚市長さん、中津市と言えは何を思い浮かべますか？如何ですか？」



【答弁】城北中学校の皆さんからの提案を拝見しました。皆さんが、環境美化、観光振興、空き家対策、安心・安全づくりなど、地域の声を聴き、様々なデータを調べていることや、柔軟な発想で多くのアイデアが出されたことについて、大変うれしく、また頼もしく感じ、お礼の手紙を送りました。

この中津市には、福澤先生をはじめ多くの偉人を輩出した歴史や文化、海・山・川の美しい自然、ものづくり産業の集積、豊かでおいしい食べものなど、たくさんの魅力があります。

市長として、皆さんが大人になっても、誇りと愛着をもって語ることのできる「魅力あるふるさとづくり」を進めていきます。

#### （1）わんぱくウォークラリー

＜質問＞クラスでのアンケート結果では、35人中30人が中津市の避難経路や場所を知らないと回答しました。ウォークラリーを通して、中津市民に避難経路や場所を知ってもらい、災害が起きた時に1人でも多くの人たちを守りたいと思います。

そこで、「中・高校生を対象とした避難経路、場所を巡るウォークラリーの開催、「楽しく防災」をキーワードにBBQやイベントを開催しては如何ですか。

【答弁】) 今後は、自治会で実施されている防災訓練等を学校と連携し、「小学校区単位」で開催することで、地域全体で防災意識を育み、若年層がより参画しやすい環境づくりに努めます。

さらに、提言の「楽しく防災」という視点を活動に織り交ぜることで、全世代の市民が自然な形で防災活動に参加できる社会を築いていきたいと考えています。



北部小5年防災教室フィールドワーク

## 2. 今後の給食費はどうか

〔経過〕給食費の無償化は、本年4月から、公立小学校に通う全ての児童を対象に、保護者の所得に関係なく全国一律で実施されることが閣議決定されました。

給食費無償化における国の支援額は、完全給食の場合、児童1人当たり月額5,200円を基準額とし、基準額を超える差額を誰が負担するのかが自治体の判断にゆだねられています。

### (1) すべての子どもの給食費を無償に

＜質問＞小学生については、国・県からほぼ100%の財政支援が行われることとなったことを踏まえ、すべての子どもの給食費を恒久的に無償にすべきと考えます。

そこで、令和8年度の保育園・認定こども園に通う園児、幼稚園、小学校、中学校に通う子ども、就学援助や生活保護世帯の子どもの給食費はどのようになるのか伺います。

【答弁】小学校の学校給食費については、国・県による支援及び国の支援額を上回る分も国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、市が負担することで無償とします。

また、生活保護世帯で教育扶助を受けている世帯の子どもについては、生活保護法に基づく支援が優先され、生活保護費の中の対応となります。

次に、幼稚園、中学校は、すでに保護者負担の無い就学援助や生活保護世帯を除いた世帯の給食費について、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、無償とします。保育施設を利用する3歳以上児全ての副食費(上限月額4,900円)も引き続き免除します。



令和8年4月より、中津市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校の給食費が無償となります。

＜質問＞園児、幼稚園、小学校、中学校に通う子どもの給食費の全額無償化にかかる経費と国、県の補助金額を伺います。

【答弁】幼稚園、小学校、中学校、それに保育所に通う子どもの給食費の全額無償化にかかる経費は、就学援助や生活保護費などの扶助費を除くと5億1745万円です。

なお、国、県の補助金額については、小学校の国・県による支援額が県費として補助され2億3447万円、小学校の国基準を上回る分及び幼稚園・中学校、保育所の給食費無償化に伴う国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」の額が2億8298万円です。

＜質問＞次に、学校給食を無償化した自治体の中で、食物アレルギーや給食の提供がないなどで弁当を持参する子どもの保護者に、給食費相当額を助成する動きが急拡大しています。

そこで、「食物アレルギー」や「宗教上の理由」等による弁当持参や不登校の子どもの給食費の助成を実施すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】「食物アレルギー」や「宗教上の理由」等による弁当持参や不登校の子どもの給食費の助成について、国は「学校設置者の判断に委ねる」とし、支援対象の範囲や考え方について対応例を示すとしていますが、現時点では示されていません。今後、他市の状況等も含めて検討します。

【問題指摘】市の財政推計では、令和13年度の財政調整基金現在高は15億8400万円しかなく、市の財政は非常に厳しい状況にあります。無償化にかかる約5億2000万円の経費を市単独で負担することは困難です。学校給食法などの関係法令の改正による恒久的な無償化を、引き続き国に求めていただきたいと思います。

### 3. 地域の気候風土に適した伝統的木造住宅のすすめ

〔経過〕令和7年4月1日に施行された建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律(以下、「建築物省エネ法」)に基づき、原則全ての住宅・建築物の新築等の際には、建築物エネルギー消費性能基準への適合が義務付けられました。

近年の住宅建築においては、全国一律の省エネルギー基準が主流となっています。しかし、高温多湿な気候に合わせた土壁や風通しを考慮した構造など、地域の気候・風土に適応した伝統的な日本建築は、現行基準に適合しにくい側面があり、地域の気候に最適な住宅技術が失われてしまいます。

(1) 気候風土適応住宅の特長と基準は、

＜質問＞「地域の気候風土に適応した伝統的な建築技術や資材を活かした気候風土適応住宅（以下「気候風土適応住宅」という）の特長と基準の策定について伺います。

【答弁】「気候風土適応住宅」とは、その地域の気候や風土に適した建築技術を用い、地域の資材を活用して建てられる伝統的な木造住宅を指します。

大分県は、地域の気候風土に応じた住宅と認められた場合に、省エネルギー基準の一部を緩和する「大分県型気候風土適応住宅の基準」を、令和8年1月に策定しました。

中津市におきましても、本市の気候風土を踏まえた住宅づくりの重要性を尊重し、県と同様の基準を2月中旬に策定します。



気候風土適応住宅

(1) 補助制度の創設

＜質問＞伝統的な建築による木材の地産地消は、林業の活性化、地域経済の循環、森林の適切な保全にも繋がります。「地域の気候風土に適応した伝統的な建築技術や資材を活かした「気候風土適応住宅」の促進は、多面的な課題を解決する方策となると考えます。

そこで、木材の地産地消の促進に向けて中津市産材補助金の復活や新たな補助制度を創設すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】中津市産材補助金や新たな補助制度の創設に際しては、財源候補となる「森林環境譲与税」の用途基準や大分県のガイドライン、客観的な効果などが運用基準に適合し、制度として成立するかどうか重要な判断材料となります。

今後、気候風土適応住宅の状況を注視するとともに、他自治体における事例も参考にしながら、その実効性を精査していきます。



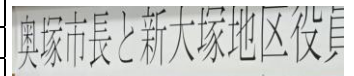
山国川流域森林組合木材共販所

## 活動日誌 主な活動の一部をご紹介します。

月 日	曜日	活 動 内 容
1月5日	(月)	新大塚町自治会会計監査、新年挨拶回り
1月7日	(水)	中津商工会議所新年賀詞交歓会、まちづくり通信配付(事業所)
1月9日	(金)	まちづくり通信配付(地元)
1月13日	(火)	中津地区平和運動センター新春旗開き、明蓮寺御正忌報恩講
1月14日	(水)	議会会派打合せ
1月18日	(日)	新大塚町農業関係初寄り、大塚町自治会総会
1月20日	(火)	北部小5年生防災教室
1月21日	(水)	総務企画環境委員会視察(大牟田・荒尾清掃施設組合)
1月22日	(木)	広報広聴委員会
1月23日	(金)	建築士会中津支部新年会
1月24日	(土)	北部校区自治委員新年互例会
1月25日	(日)	東西蛸瀬自治会総会、NPOなかつ耶馬溪活き域きネット新年会
1月28日	(水)	中津市自治研究センター理事会、下水道処理場関係地元説明会
1月30日	(金)	連合北部地域協議会新春旗開き
1月31日	(土)	分退連中津定期総会
2月2日	(月)	3月議会一般質問通告書提出
2月4日	(水)	一般質問執行部打合せ、新大塚町役員と市長との親睦会
2月5日	(木)	会派視察(山鹿市、雲仙市 6日まで)
2月6日	(金)	衆議院大分3区小林かやこ中津駅前集会
2月8日	(日)	衆議院選挙投開票日
2月10日	(火)	県政市政対策会議
2月11日	(水)	みんなでラジオ体操
2月12日	(木)	議会会派打合せ
2月13日	(金)	3月議会議案質疑通告書提出、議会運営委員会
2月15日	(日)	新大塚町自治会総会
2月17日	(火)	3月議会開会
2月20日	(金)	市役所退職予定者激励会
2月24日	(火)	3月議会一般質問、北部校区地域福祉ネットワーク協議会定例会
2月25日	(水)	3月議会一般質問(登壇)、建築士会中津支部役員会
2月26日	(木)	3月議会一般質問、議会運営委員会
2月27日	(金)	3月議会一般質問、議会運営委員会、広報広聴委員会
2月28日	(土)	「青の洞門を青に染めるプロジェクト」ネモフィラ草取り
3月2日	(月)	太宰府市長・議長表敬訪問、太宰府市議会傍聴
3月4日	(水)	3月議会議案質疑(登壇)、中津出会いはじご酒
3月5日	(木)	執行部との打合せ(新清掃工場建設)
3月6日	(金)	城北中学校卒業式
3月9日	(月)	3月議会常任委員会(産業建設消防)
3月10日	(火)	3月議会常任委員会(教育厚生)
3月11日	(水)	3月議会常任委員会(総務企画環境)
3月12日	(木)	3月議会常任委員会(教育厚生)
3月13日	(金)	市長と米山地区役員との懇親会
3月14日	(土)	平田邸 春の特別公開2026 ～大正・内裏雛と生け花の饗宴～
3月15日	(日)	北部校区ふれあいまつり
3月16日	(月)	3月議会自由討議、議会運営委員会、総務企画環境委員会
3月18日	(水)	3月議会最終日、議会運営委員会、市執行部との懇談会
3月19日	(木)	北部小学校卒業式、中津職労臨時大会
3月20日	(金)	市退職者会グランドゴルフ大会、孫のピアノ発表会
3月22日	(日)	耶馬溪につぼん酒をつくる会直会
3月24日	(火)	明蓮寺春彼岸法要
3月26日	(木)	ゴミ焼却工場現地調査(有明ひまわりセンター)
3月27日	(金)	高校生平和大使と市長表敬訪問
3月29日	(日)	津民小学校閉校記念式典、閉校記念行事



北部小5年生防災教室



奥塚市長と新大塚地区役員



奥塚市長と新大塚の懇親会



新大塚町自治会総会



ネモフィラ畑草取り



平田邸の特別公開



北部ふれあいまつり

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

<http://www.m-ohtsuka.com/> 又は大塚正俊のツイッターで検索して下さい。



[ホームページ](#)  
QRコード

**編集後記 (ひとりごと)** 母校の北部小学校の卒業式に参列しました。卒業生は新型コロナ禍で迎えた入学式の翌日から約2か月間も休校となり、大変なこともたくさんあったと思います。しかし、コロナに負けず元気で健やかに成長してくれた姿に感動しました。(まさとし)